

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例

(2017年)

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15~16	コンクリートを打設中、バイブレーターを肩に担いで予備通路の足場上を移動中に足場板を踏みはずし、手摺りに掴まったので墜落はまぬがれたが、その際に腰をひねってしまった。	40	—
2	16~17	事業所作業場において廃材物を片付けるため分別作業を行っていた。その際、マッサージ機械を運ぼうとしたが力を入れた体勢が悪かったため、腰部を捻挫した。	31	1~9
3	8~9	鉄筋組立工にて柱筋組立中、後ろへ移動したときに水が溜まっていたため、足元がよく見えず捨てコン端部を踏んでしまった際、ぬかるみに足をとられ右足首を捻挫した。	38	1~9
3	9~10	発電所2号機復水器前において、復水器から抜き取った細管（1本4kg）を束ねた状態で肩に担いで運搬作業を行っていた。1回目に4~5本を束に担ぎ、2回目に7~8本を束にして担ぎ、3回目にも7~8本を束にして担いだとき、背中に痛みを感じた。	57	1~9
4	9~10	当工事構内にてコンクリート製基礎ブロック72個（25cm×25cm×25cmの空洞ブロック）をトラック荷台から台車に積み替える等の作業中、腰痛が出始めた。	27	10~29
4	8~9	資材置場において中学校の改修工事へ行くための資材の積み込みを行っていた。バッテリー溶接機（40kg）を車に積み込むために中腰の状態から持ち上げようとしたところ、腰を捻ってしまった。	27	1~9

4	15~ 16	物置場内を徒歩で移動中に、30cm位の段差を降りる際に左足を捻ったまま着地してしまった。	35	1~ 9
5	14~ 15	敷地内の建物修繕中、足場パネル設置のため、当該パネル2枚を被災者が2枚持ったところ腰部を痛めた。	43	10 ~ 29
5	16~ 17	現場1階に向かう通路右側の既設窓枠鉄格子を撤去する為、被災者はバールを使用して取外そうとしたところ、バールが外れ尻もちをついた。	42	1~ 9
6	9~ 10	新築工事現場において、動線上に天板が放置されていたため、災害・事故防止のため即時に社員と2名で天板を移動しようとしている際、腰を捻りヘルニアを発生した。	63	30 ~ 49
6	16~ 17	新築工事現場において、型枠工事に使用するFRPパネルを2階から3階へ移動するため、2階から上げられたパネルを3階で受け取りって床に置く作業中、最後のパネル（約12枚目）を引き上げた際、力が入り過ぎて左手を捻ってしまい、負傷した。	46	1~ 9
6	15~ 16	資材置場での材料整理時に、足元の悪い場所で材料を受け取った際にバランスを崩し、右足を挫いて、右足踝にひびが入った。	19	10 ~ 29
6	17~ 18	勾配天井作業にて、同じ姿勢で天井の下地組及び天井プラスターボード貼り付け工事作業を行った後、右首に痛みが発生、頸椎捻挫状態と診断された。	20	100 ~ 299
7	11~12	被災者は、内装材の荷揚げ作業をしていた。トラックより1階、階段前に仮置きした断熱内壁枠（600×2500mm）を仮置き場所が狭いため、角度調整で直していた時にバランスを崩し倒れかかってきた枠を押さえて、枠の角を鎖骨部にあててしまい被災した。	29	1~ 9
7	14~15	現場で資材差し上げのため足場から下の階へ降りようと足場の手すりを握った際に、中指を脱臼してしまう。（変なにぎり方をしたため、それが原因で脱臼となる）	28	1~ 9

7	16~17	現場内建物外周部東側を巡回中、敷鉄板端部に左足が引っ掛かり、左足首を捻った。	50	100 ~ 299
7	9~10	基礎部X5-Y7、Y1-Y2間の捨てコンクリートの上で地中梁（小梁）の上筋D25L10.5m41.8kgを被災者含め4名で配筋中、被災者と他の作業員1名とでD25の鉄筋を大梁の上に持ち上げた際、右肩に力がかかり右肩の腱を痛めた。	60	30 ~ 49
7	11~12	足元にあった合板（ベニヤ板）の段差につまずき、左足をくじいた。	56	30 ~ 49
7	16~17	工事現場において、外構工事作業中、ダンプから降ろすためにセメントを持ち上げたところ、袋が他の荷物に引っかかっていたため、重量がかかり腰に激痛がはした。	40	1~ 9
7	15~16	住宅解体現場にて、2階部分を解体中に出た角材（2m位、重さ20kg~30kg）をダンプに積込み作業中、足の踏み場を悪かったため、変な姿勢で角材を持ち上げたときに、腰に強い痛みが出た。そのまま少し様子を見ながら休みをとるなどして仕事を続けたが、歩行困難になり、病院を受診した結果、椎間板ヘルニアと診断された。	33	10 ~ 29
7	15~16	現場1階フロアの壁面解体作業中、壁面の木柱にバールの爪を入れようと力任せにバールを振り回した。その際、頭上右手の天井から突き出ていた鉄柱に、バールの持ち手付近が当たり、右手首が反り返った状態となり負傷した。	39	1~ 9
7	16~17	資材置場において、サポートの整理作業中、足元に置いてあるサポートに気が付かず、サポートを踏み、そのときに右足を捻って負傷した。	39	10 ~ 29
9	10~11	大規模修繕工事の現場で、休憩を取るため12階相当足場から、12階廊下へ降りる際、玄関前の床付戸当たり上に着地、左足首を骨折した。	50	10 ~ 29
	16~	本社隣接の自社資材置場倉庫内において、資材の整理整頓を行っていた。横25cm		30

10	17	×縦25cm×奥行35cmのガムテープの入った箱（約12kg~13kg）を高さ約2mの棚へ持ち上げ、つま先立って奥へ押し込もうとした時に左足アキレス腱を断裂した。	66	~ 49
10	18~ 19	道具の整理、作業車の清掃の作業中、道具の積み下ろしで力を入れた際に右肩に痛みが走った。	21	1~ 9
10	11~ 12	機械工場の土間スラブ配筋のため、鉄筋アンカー約600本を道具と足を使い手直しをしていたところ、腰に激痛が走りその痛みで足を滑らせ倒れた。	37	1~ 9
11	11~ 12	派遣労働会員の被災者が、市役所のゴミ置き場内で転倒した際、尻もちをつき、左手首が身体の下になり、重みがかかった為、左手首のくるぶしを骨折した。	43	1~ 9
11	10~ 11	当社倉庫で、片付け（整理）をしている際、足場材を持って、降ろす時に膝を曲げずに降ろした為、肉離れをおこす。左足太腿の裏側がつってしまった。	55	1~ 9
12	17~18	被災者は、当作業所内8階および26階の冷媒配管工事の作業員として入場していた（当作業所がメインの勤務場だが、他の作業所での勤務もあった）。被災者は、約2週間、工事用エレベーターを利用せず、8階から26階（階高4m、18フロア分）間の作業工具（30kg程度）の上げ降ろしを人力で数回に亘り行った。また、手工具（10~20kg）についても上げ降ろしを数回人力にて行った。	32	1~ 9
12	15~16	重機を降りる際、キャタピラーから足を滑らせ手をついたところ骨折した。	46	1~ 9
12	10~11	浴室で入浴介助中、利用者の体を浴室から浴槽へ移動する際、利用者のわきの下に自分の両腕を回し持ち上げて、利用者のでん部を浴槽のへりにのせて浴槽に体を浸け、浴槽からわきの下に両腕を入れて持ち上げ、へりにでん部をのせて浴室に体を移動する際に右下腿部、右大腿部を挫傷した。	52	1~ 9
12	16~17	会社営業所内の作業場にて、長尺鉄筋を切断する作業中、中腰での作業であったため、腰痛を発症した。	20	1~ 9
12	9~10	新築工事現場において、外構工事作業を行っている作業員へ指示をするため、被害者が碎石敷きの通路を歩いていた際に、微妙な段差があり、左足をとられて捻り、骨折した。なお、転倒はしていない。	49	1~ 9
		鉄筋コンクリート造4階建て建築工事現場で、現場入口に置いてあるサポート4本		1~

12	16~17	を左肩に担いだ状態で、1階現場の建物入口まで運ぶため車をよけて歩行していたとき、現場入口付近で、左肩が急に脱臼した。	25	9
----	-------	--	----	---

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html